

意見交換会開催内容（⑧友部小学校）

日時：平成24年6月22日（水）午後7時～8時15分

場所：友部小学校 体育館

出席者：13名

意見：学校の適正配置に関して、南友部地区と鴻巣地区には変化がないということによろしいか。

回答：ご質問の調整区域に変化はありません。ただし、もう1つの調整区域であるベリオ・コロナ会区の通学先は宍戸小学校が望ましいとしています。

意見：教育委員会で実施計画を策定してしまってから地区説明会を開催するのはおかしいのではないか。

回答：実施計画にはスクールバスや制服といった細かいことについても盛り込んでいきますので、それらを統合対象校の保護者や地域の皆さんに説明し、納得いくまで話し合いながら進めていくということになります。

意見：登校時間にそれほど差はないが、下校時は部活動によって時間帯に幅があるため、スクールバスを充実させる必要がある。

回答：これまでの意見交換会でも同様の意見を多数いただいています。スクールバスの充実は子どもたちにとって重要なことですので、安全対策も含めた最良の方法について検討し、保護者の皆さんが満足いくような仕組みにしていきたいと考えています。

意見：部活動でスクールバスに間に合わない場合、学校周辺の寮に子どもたちを宿泊させるようなことは考えているのか。

回答：遠いところで10kmほどですので、子どもたちを宿泊させることは考えていません。ただし、遠距離通学については慎重に検討していく必要があると考えています。通学距離が小学校で4km以上、中学校で6km以上は遠距離通学になりますので、この基準を超える通学については行政側で十分に手当てをしていくことになります。

意見：南友部に住んでいるが、調整区域の場合は上の子が友部小学校、下の子が大原小学校という選択肢もあるのか。

回答：希望するいずれかの小学校を選択できるのが調整区域です。同じ学校に通うこともできますし、分けることもできますが、それは保護者とお子さんの判断になります。

意見：答申の付帯意見③「遠距離通学の支援」の中に「鉄道等を活用して」とあるが、これは通学手段として現実的なのか。

回答：将来的に稲田中学校が笠間中学校に統合になった場合に鉄道を利用するという選択肢もありますので「鉄道」という文言が入っています。なお、毎年数人の子が水戸市の私立中学校へ電車で通っています。